

第2次村上市環境基本計画 概要版

環境指標

間伐等実施面積 現況値 183.7 ha (令和元年度) 目標値 320 ha (令和12年度)	防除区域内松くい虫被害木処理量 現況値 20.67m ³ (令和元年度) 目標値 20.00m ³ (令和12年度)	有害鳥獣による被害面積 現況値 11.33 ha (令和元年度) 目標値 10 ha (令和12年度)	有害鳥獣による人的被害件数 現況値 1件 (令和元年度) 目標値 0件 (毎年)	光化学スモッグ注意報発令件数 現況値 0件 (令和元年度) 目標値 0件 (毎年)	河川水環境基準達成率(BOD等) 現況値 100% (令和元年度) 目標値 100% (毎年)
水洗化率(公共下水道・特定環境保全公共下水道) 現況値 72.3% (令和2年度) 目標値 82% (令和12年度)	水洗化率(農業集落排水施設) 現況値 85% (令和2年度) 目標値 95% (令和12年度)	合併処理浄化槽普及率 現況値 86.7% (令和元年度) 目標値 94% (令和12年度)	新たな土壌・地下水汚染発生件数 現況値 0件 (令和元年度) 目標値 0件 (毎年)	化学物質による環境汚染事故の発生件数 現況値 0件 (令和元年度) 目標値 0件 (毎年)	公害苦情件数(騒音、振動、悪臭) 現況値 11件 (令和元年度) 目標値 5件 (令和12年度)
1人1日あたりのごみ排出量 現況値 769.8g/人・日 (令和元年度) 目標値 746g/人・日 (令和12年度)	リサイクル率 現況値 21.0% (令和元年度) 目標値 28% (令和12年度)	ごみ最終処分量 現況値 802 t/年 (令和元年度) 目標値 725 t/年 (令和12年度)	不法投棄・野焼き件数 現況値 20件 (令和元年度) 目標値 10件 (令和12年度)	にいがたグリーン・ツーリズム(農家民宿、直売所、農家レストラン)の登録件数 現況値 10件 (令和2年度) 目標値 10件以上 (令和12年度)	認定農業者登録数 現況値 423人 (令和元年度) 目標値 450人 (令和12年度)
市民1人あたりエネルギー使用量 現況値 105 GJ ^{※1} /人 (平成30年度) 目標値 105 GJ/人 (令和12年度)	市域における再生可能エネルギー発電設備の発電出力 現況値 95 MW ^{※2} (令和元年度) 目標値 130 MW (令和12年度)	市域の温室効果ガス排出量 現況値 577 千t-CO ₂ (平成29年度) 目標値 477 千t-CO ₂ (令和12年度)	市有施設等の温室効果ガス排出量 現況値 26.1 千t-CO ₂ (令和元年度) 目標値 22.3 千t-CO ₂ (令和12年度)	熱中症患者発生件数 現況値 91件 (令和元年度) 目標値 50件 (令和12年度)	<p>各目標値は関連する基本目標に対応した色分けをしています</p>
クリーン作戦や一斉清掃の実施回数 現況値 83回 (令和元年度) 目標値 80回以上 (毎年)	伝統行事支援事業の実施件数 現況値 5件 (令和元年度) 目標値 50件/10年	環境学習イベント後の満足度(アンケート) 現況値 - 目標値 50% (令和12年度)	環境フェスタ参加団体数 現況値 12件 (平成30年度) 目標値 100件/10年	クラインガルテン利用者数 現況値 639人/年 目標値 600人 (令和12年度)	



各目標値は関連する基本目標に対応した色分けをしています

令和3年3月
村上市

計画の進行管理

推進体制

- ❖ 環境政策に関わる委員会として、①村上市環境審議会、②村上市地球温暖化対策地域協議会、③村上市環境基本計画等進捗管理委員会、④村上市環境基本計画等庁内推進委員会の4つを設けて計画を推進します。

進行管理

- ❖ 環境マネジメントシステムを参考としたPDCAサイクルに基づく計画の進行管理を行います。
- ❖ 指標による評価を行い、村上市環境基本計画年次報告として公表します。
- ❖ 策定から5年目に当たる2025年度に中間見直しを行います。

計画策定の目的

「第1次村上市環境基本計画」の策定から10年が経過し、環境基本計画及びその関連計画である「村上市地球温暖化対策実行計画」と「村上市新エネルギー推進ビジョン」の計画期間が令和2年度(2020年度)で終了することから、これまでの環境問題に関する社会情勢の変化に対応するとともに、本市における環境問題の解決や将来に向けた環境政策のさらなる推進を図るため、各計画を包含する第2次環境基本計画を策定しました。

※1 GJ: キガジュールの略号で、キガは10の9乗です。Jはエネルギー量の単位です。

※2 MW: メガワットの略号で、メガは10の6乗です。Wは発電能力を表す単位です。

計画の目標

目指す環境像

村上市の豊かな自然を守っていくことのみならず、より良い環境を次の世代に引き継いでいくために、自立・分散型社会の形成、近隣地域等と「地域循環共生圏」の体現、自然との共生の実現を目指して発展する持続可能な社会の構築を図ります。

豊かな自然と調和しながら発展して共生する 循環共生型社会のまち

計画の期間

令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間とします。



施策の展開

基本目標1 (自然環境) 市の自然豊かな環境の後世へ継承	1-1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然との共生	森林環境の保全 水辺環境の保全 海辺環境の保全 農村環境の保全 野生鳥獣保護と鳥獣被害対策の両立	①森林の植生と生態系の保護 ①水辺の生態系の保護 ①海浜植物の保護 ①自然豊かな農地の保全 ①貴重な野生動植物の保護	②山岳地及び里山の森林整備 ②親しみやすい水辺環境の整備 ②鳥獣被害対策の推進
	1-2 生物多様性の保全	生物多様性の理解促進 生物多様性の保全活動の推進	①生物多様性に関する情報の収集・提供 ①開発行為における生物多様性確保の指導	②外来種の侵入・拡散防止と駆除
基本目標2 (循環共生) 持続可能な循環共生型の社会	2-1 良好な生活環境の保全	快適な大気環境の保全 快適な水環境の保全 安全・安心な環境の保全 その他の環境の保全	①事業施設のばい煙対策等の監視 ③エコカーやエコドライブの普及促進 ①事業施設の排水等の監視 ④公共下水道の拡大推進 ①土壌汚染の防止 ①騒音・振動の軽減	②大気質の監視の継続 ④悪臭の発生抑制 ③水源地の保全 ⑤合併処理浄化槽の普及 ②地下水汚染の防止 ③化学物質による環境汚染の防止 ②光害の抑制
	2-2 資源循環型社会の構築	5Rの推進 適正な処理・処分の推進	①ごみの発生抑制(リフューズ:Refuse)の促進 ③ごみの修理・修繕(リペア:Repair)、再使用(リユース:Reuse)の普及 ①ごみの不法投棄の撲滅	②ごみの排出抑制(リデュース:Reduce)の促進 ④ごみの再生利用(リサイクル:Recycle)の推進 ②ごみの散乱防止 ③ごみの適正処理の促進
	2-3 環境保全型の持続可能な農林水産業の推進	環境に配慮した農林水産業の推進 持続可能な農林水産資源利用の推進	①環境に配慮した農業の推進 ①農業系資源の循環利用の促進 ③持続可能な林業経営の推進	②環境に配慮した林業の推進 ②耕作放棄地の拡大防止・有効活用検討 ④持続可能な水産資源管理の推進 ③環境に配慮した水産業の推進
	3-1 省エネルギーの推進	省エネルギー活動の推進 省エネルギー機器の普及 市有施設での省エネ化推進	①省エネルギー活動の普及促進 ①省エネルギー関連設備の導入支援 ①市有施設の省エネ化検討	②エコドライブの普及促進 ②次世代自動車の利用環境の整備促進 ②次世代自動車の導入
基本目標3 (地球温暖化) 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開	3-2 再生可能エネルギー等の利用促進	再生可能エネルギーの理解促進 再生可能エネルギー機器の普及 市有施設での率先取組	①再生可能エネルギーに関する情報の収集・提供 ①再生可能エネルギー関連設備の導入支援 ①市有施設への自立・分散型エネルギー設備の導入検討	②再生可能エネルギーの拠点化に関する理解促進 ②地域資源を活用したバイオマス発電事業の可能性検討 ②市有施設での再エネ電力の率先購入
	3-3 温室効果ガス排出量の削減	温室効果ガス排出量の削減 低炭素まちづくりの推進	①温室効果ガス排出量の削減対策の推進 ①人と環境にやさしい交通ネットワークの構築	②二酸化炭素吸収源対策の推進 ②市内のエネルギーシステムの効率化の推進
	3-4 気候変動の影響への適応	気候変動による影響の理解促進 気候変動による影響への対応	①気候変動に関する情報の収集・提供 ①熱中症対策の推進	②農作物の高温障害対策の推進
	3-5 その他の地球環境対策	オゾン層の保護 酸性雨の防止 海洋ごみ対策の推進	①法に基づくフロン回収の啓発 ①酸性雨の発生防止の啓発 ①5Rの推進等による海洋ごみの発生抑制	
	4-1 美しい田園、里山、海岸景観の保全	自然景観資源の意識啓発 自然景観資源の保存活動の推進 自然景観資源を活かした地域活性化	①自然景観に関する情報の収集・整理・提供 ①身近な緑の保全・整備 ①自然環境とふれあう場の創出・整備	②環境美化活動の促進
4-2 歴史ある町並みや景観の保全	歴史文化資源の意識啓発 歴史文化資源の保存活動の推進 歴史文化資源を活かした地域活性化	①伝統や文化財の保護意識の啓発 ①文化財の保護 ①町並みの保全と創造	②伝統や文化財に関する情報の収集・整理・提供 ②歴史景観の保全 ②市民協働のまちづくりの推進	
基本目標5 (教育協働) 市民や産業とともに環境づくり	5-1 環境意識の向上	環境情報の発信と共有 環境学習等の促進	①環境問題に対する意識啓発の推進 ①環境教育・環境学習の積極的な推進	②環境情報の集積と提供 ②食育と地産地消の推進
	5-2 環境活動の推進	環境保全活動への参加の促進 環境保全活動への支援	①市民の環境保全活動の紹介 ①環境保全団体の活動の推進	②市民参加型の環境事業の検討 ②ボランティア組織の育成及び活動への支援
	5-3 ネットワークの形成	地域内のネットワーク形成の推進 広域なネットワーク形成の推進	①主体間における環境情報の共有化 ①都市等と連携した山村体験や自然体験事業等の実施	②主体間の良好なパートナーシップの形成 ②グリーンツーリズム・エコツーリズムの推進